

11月

2024
Vol.520

ひろがれ じんけんネットワーク

三木市人権啓発紙

隣保館だより

R I N P O K A N D A Y O R I

11月は、児童虐待防止推進月間です



ホームページ URL
<https://www.city.miki.lg.jp/site/sou-gourinpokan/>



家族連れでにぎわうべっしょなかよし食堂（別所町公民館）

2010年代頃よりテレビやマスメディアで取り上げられるようになった「子ども食堂」は、「子どもの貧困」や「孤食」の解決、地域のコミュニティづくり等の有効な手段として今では全国で9,000箇所以上に設置され、大きな広がりを見せています。

三木市内には、現在10箇所の「子ども食堂」が設置されており、地域住民や学生、企業の社員などのボランティアの方々が子どもたちや住民に安価で栄養のある食事と憩いの場を提供しています。

❖ 「隣保館だより」は、市民の皆様にご覧いただき、総合隣保館の活動や人権尊重の生き方のヒントになるような情報をお届けする啓発紙です。

❖ 次ページ「人権の小窓」は、地域の子どものみならず、ご近所や住民に食事や団らんを提供している「べっしょなかよし食堂」の体験ルポです。

人権の小窓(270)

「子ども食堂訪問ルポ」

べっしょなかよし食堂を訪ねて

別所町に子ども食堂がオープンしてまる2年が経ちます。多くの参加者で好評だと聞き、たずねてみました。ある日の活動の様子をレポートします。

大にぎわいのべっしょなかよし食堂

ここは三木市別所町の公民館。第1金曜日、午後5時30分、駐車場に親子連れや高齢者の方が続々と車から降りて来られます。玄関をくぐると、どこからともなくおいしそうな匂いが漂ってきました。2階工作室が食堂になっており、その入口で本日のメニューが書かれたかわいい手作りボードが参加者を迎えています。



「こんばんは、お世話になります」
「いらっしゃいませ。お名前を。お料理の大・中・小を選んでください」

受付を済ませ、食券をスタッフに渡すと、すぐに名前が呼ばれました。トレイにはおいしそうなほかほかご飯とすまし汁、カレーの甘酢あんかけとかぼちゃの煮つけ、そしてデザート(これで大人が500円で、子どもは無料!)が乗ってきました。



受け取って食堂の座席に座ると、ほどなく30席ほどの室内はお客さんで満席になりました。

地域に団らんとふれあいの場を

べっしょなかよし食堂は、令和4年11月に発足し、翌年1月から毎週第1、第3金曜日の午後4時から7時までオープンしています。笑顔で私を迎えてくださった代表の藤木登志子さんに活動を始めた理由と経緯をお聞きしました。

藤木さんは、

「数年前にニュースなどで都市部で『子ども食堂』



ボランティアグループ「ねくもりの手」の皆さん
(写真左から) 田中 紀美代さん、高田 緑さん、藤木 登志子さん、岸野 ちづ子さん、大熊 みどりさん、田中 和代さん、合田 敦子さん、大北 由美子さん

が開設されると報道されているのを聞いて、私が民生委員をしている関係上、近所にも独居の高齢者がいらっしやったり、学校の先生方から朝食を食べない子どもさんもいると聞いたりしていたので、都市部じゃないけれど別所町にも子ども食堂ができないものかと考えていました」

と説明してくださいました。藤木さんは、別所町民生委員・児童委員協議会の会長でもあり、お住まいの地域の「ふれあいサロン」も彼女が中心になって運営しているというバイタリティーあふれる地域のリーダーです。さらに藤木さんは続けて、

「子ども食堂のことはコロナ禍で一時は断念していましたが、2年前、ある民生委員の会議の後に、市や社会福祉協議会の方に相談したのです。立ち上げに際しては市や県から補助金も出ると教わり、また小学校の校長先生にも『それはとてもいいことです。協力します』と後押しされ、会場についても、公民館からどうぞご自由にお使いくださいとお許しをいただいたので、一大決心して何人かお友だちに声をかけて開設することにしたんです」

と教えてくださいました。結成したボランティアグループは「ねくもりの手」という名称で、現在8人で活動されています。

この日、受付に1人、キッチンには7人のメンバーが調理や配膳をされていました。聞けば前日に買い出しや会場づくりをして、当日は午後2時から調理を始めるとのこと。お米や野菜などの食材は、市の子育て支援課に寄付されたものや農家の方、コープのフードドライブなどから提供され、足りない分を買い足すそうです。メニューはミーティング時に考え、キッチンで調理が始まれば、それぞれが適材適所で動き、まさに阿

咩(あうん)の呼吸、素晴らしいチームワークであつという間に見事な料理が出来上がるのには驚きました。メンバーの一人で受付係の大北由美子さんは、「私は別所町の主任児童委員をしていて、民生委員・児童委員の会議で藤木さんに『あなたも当然するよね』と誘われて。メンバーはみんな大先輩ばかりで、ご一緒させてもらうと、包丁の使い方から味付け、出汁(だし)の取り方までたくさん教わるのができて、とても勉強になるんです」と笑顔で話してくださいました。



メンバーの一人で、元小学校教師の田中紀美代さんもこういったボランティア活動について、「仕事をしていた時は、あまり地域に出て行くことは無かったです。でも、このメンバーの人たちから、地域のいろんな情報を教わるができます。また、ここに来られる高齢者と子どもたちが楽しく一緒に遊んだり話したりしている様子は、地域や家庭では今ではほとんど見られなくなってしまった光景なので、ここが本当に貴重な場所なんだと思います。そういう姿を見られるのはうれしいことです」と話されました。メンバーの岸野ちづ子さんは、「近所の人に話すと、『いいことされてるんやね』と感心されて。そんな声をいただくと『やってよかったな』と思います。また『おいしかった』という声をいただくのもうれしいことで、私も誰かのお役に立てているのだなと思って、やりがいを感じます」と満足げに話されました。

その後も次々にお客さんが詰めかけて大忙し。食堂に入りきれなかった人や食べ終わった人は、図書室(別名「なかよしルーム」)で、家族や友だち同士で遊んだり絵を描いたり本を読んだりして過ごしています。これも一般の飲食店では見られない、べっしょなかよし食堂ならではの素敵な光景だなと感じました。



参加者の喜びの声

月1回必ず来ているという5人の女性グループは、



「みんな近所の人ばかり。一人暮らしだと孤食で寂しいけど、ここだとみんなでおしゃべりしながら楽しく食べられて、いっそうおいしく感じます」「仲良くなって、元気になって、いいことばかり」などと口々に話されました。

仲良く食事をする2人の女子中学生に話を聞くと、「学校でチラシを見て来ました。別々のクラスで一緒に給食を食べられなくなったので、ここで一緒に食べようかと相談して。とってもおいしかったです」3人のお子さんを連れてよく来ているという女性や、子ども連れのご夫婦も、「働きながらの子育ては毎日たいへんで、ここは子どもが無料で食べられ、家計にも優しく、本当に助かります」などと、実感を込めて話されました。

食べ終わった食器は自分で返します。この日は64食が提供され、多くの人が次回も予約をして帰られました。中には町外からの参加者もおられるとのことです。



藤木さんに今後の抱負を聞くと、「たくさん来られるのはうれしいことですが、本当は経済的に困っている家庭や外に出にくい孤食の子どもたちにも来てもらいたいです。そこが難しく、続けるうちに段々そうなればと思いますが…」と話され、単に安価でおいしいだけの「お得な子ども食堂」に満足されていない、深い思いに触れた気がしました。

メンバーのぬくもりが染み込んだべっしょなかよし食堂のお料理は一味違います。ぜひ一度お試しあれ。(問い合わせ先 Tel:090-5464-1364 藤木登志子)まで

(報告 編集部 澤田)



日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	金	経営・職業相談 10:00～ 人権相談 13:00～（緑が丘町公民館）	16	土	書を楽しみきらきら教室 13:00～ 三同教研究大会 13:00 受付～16:00 国際寛容デー
2	土		17	日	
3	日	文化の日	18	月	エアロビクス講座 10:00～11:00
4	月	振替休日	19	火	経営・職業相談 10:00～
5	火	経営・職業相談 10:00～	20	水	世界こどもの日 トランスジェンダー追悼の日
6	水		21	木	人権相談 13:00～（三木市役所）
7	木		22	金	経営・職業相談 10:00～
8	金	経営・職業相談 10:00～	23	土	勤労感謝の日
9	土	茶道教室 9:00～ 教育事業学習交流会 9:00～	24	日	
10	日	肢体不自由児愛護の日	25	月	女性に対する暴力撤廃の国際デー
11	月		26	火	経営・職業相談 10:00～
12	火	経営・職業相談 10:00～	27	水	
13	水		28	木	手芸サークル 13:30～
14	木	手芸サークル 13:30～	29	金	経営・職業相談 10:00～
15	金	経営・職業相談 10:00～	30	土	全人教研究大会（九州大会） 茶道教室 9:00～



第41回総合隣保館文化祭

12月4日(水)～8日(日)

会場 総合隣保館
 前夜祭 7日(土)18:00から
 映画「コーダ あいのうた」上映
 開会行事 8日(日)9:30から
 記念講演 8日(日)10:00から
 演題「私は部落から逃げてきた」
 講師 ジャーナリスト 西田昌矢さん

催し物 8日(日)10:00から
 バザー

発表会 8日(日)12:45から
 ダンス、演奏会、劇など

抽選会 8日(日)15:00から
 展示 4日(水)～8日(日)
 9:00～21:00
 最終日は15時まで



お問合せは隣保館（TEL 82-8388）まで

視察研修に行ってきました

10月5日に堺市の^{へのまつ}船松人権歴史資料館を訪問しました。参加者は17名。船松地区の歴史と差別の実態、対策事業の進展などの説明を受けた後、阪田三吉のゆかりの場所などのフィールドワークを行いました。このあと仁徳天皇陵をはじめ多くの古墳が一望できる堺市役所高層館を見学しました。



人権啓発紙「隣保館だより」11月号
 令和6年11月1日発行(毎月1日発行)
 三木市市民生活部 人権推進課編集
 〒673-0501 三木市志染町吉田 823
 三木市立総合隣保館 TEL 0794-82-8388
 FAX 82-8658
 E-mail:jinken@city.miki.lg.jp